

立間川水系 流域治水プロジェクト（案） [対策内容]

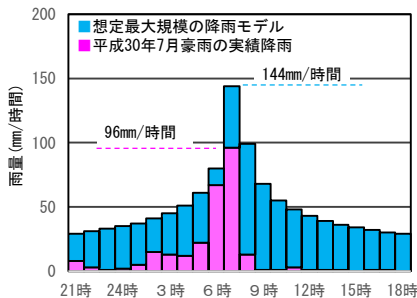
～ 【陣屋町吉田】みかん産地の文化・産業・暮らしを守る防災・減災対策の推進 ～

平成30年7月豪雨で甚大な浸水被害が発生した宇和島市吉田町。気候変動の影響により日々増大する水害リスクを軽減させるため、「住み続けられるまちづくり」を目指して、流域のあらゆる関係者が協働し「流域治水」による防災・減災対策に取り組む。

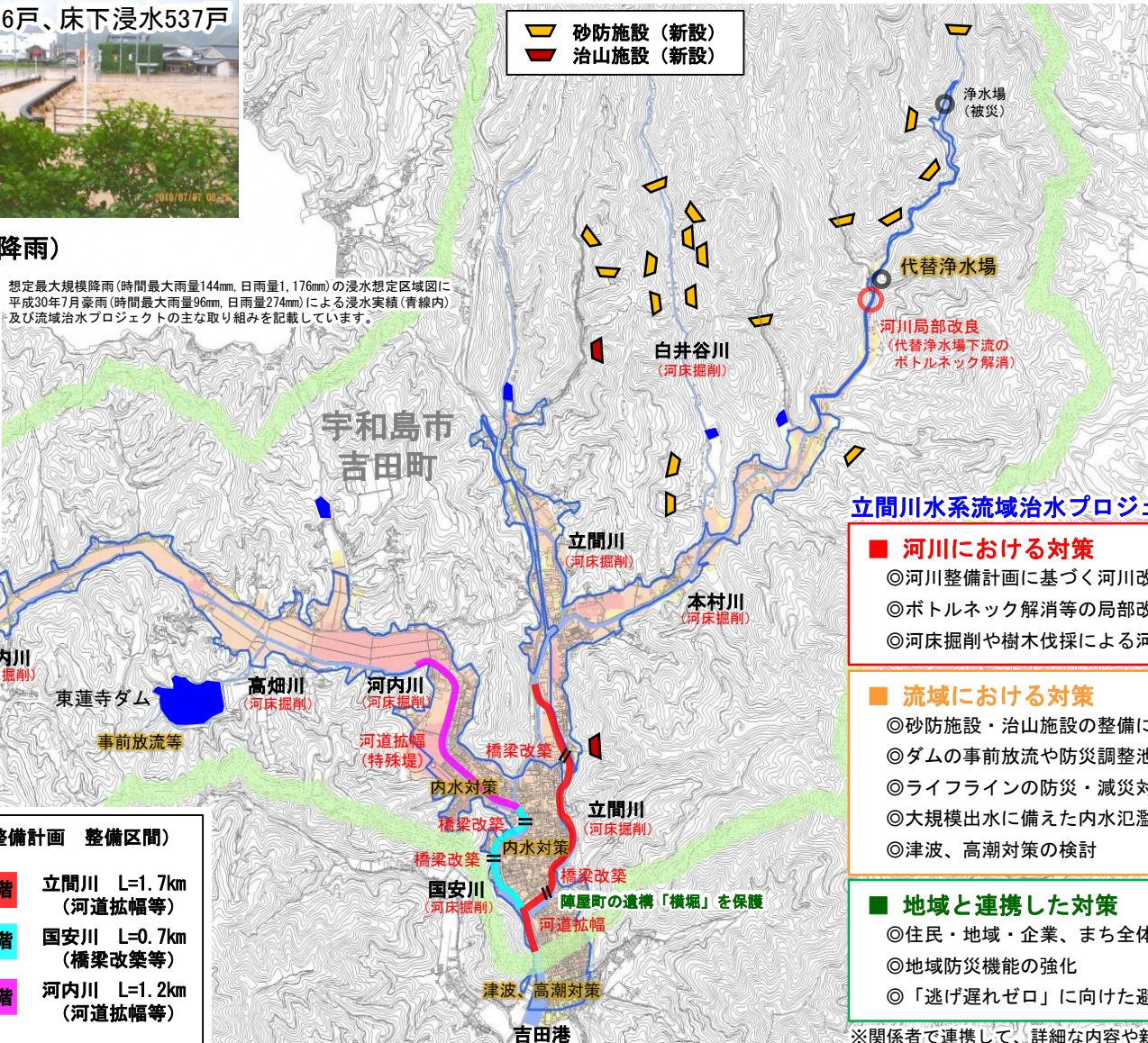
■平成30年7月豪雨 床上浸水1166戸、床下浸水537戸
(内水氾濫被害を含む)



■浸水想定区域図(想定最大規模降雨)



想定最大規模降雨(時間最大雨量144mm、日雨量1,176mm)の浸水想定区域図に平成30年7月豪雨(時間最大雨量96mm、日雨量274mm)による浸水実績(青線内)及び流域治水プロジェクトの主な取り組みを記載しています。



立間川水系流域治水プロジェクトの主な取り組み

- 河川における対策
 - ◎河川整備計画に基づく河川改修の推進
 - ◎ポトルネック解消等の局部改良による治水安全度の早期向上
 - ◎河床掘削や樹木伐採による河川機能の確保
- 流域における対策
 - ◎砂防施設・治山施設の整備による土砂・流木の流出抑制対策
 - ◎ダム の 事前放流や防災調整池等による雨水貯留の検討
 - ◎ライフラインの防災・減災対策
 - ◎大規模出水に備えた内水氾濫対策の検討
 - ◎津波、高潮対策の検討
- 地域と連携した対策
 - ◎住民・地域・企業、まち全体で取り組む減災対策
 - ◎地域防災機能の強化
 - ◎「逃げ遅れゼロ」に向けた避難体制の強化

※関係者で連携して、詳細な内容や新たな対策を検討する。

※「地理院タイル」を背景に使用

凡 例	
浸水した場合に想定される水深	
3.0m～5.0m未満の区域	(赤)
0.5m～3.0m未満の区域	(オレンジ)
0.5m未満の区域	(黄)
浸水実績範囲(H30.7豪雨)	(青線)
立間川水系流域	(緑)

(河川整備計画 整備区間)	
第2段階	立間川 L=1.7km (河道拡幅等)
第1段階	国安川 L=0.7km (橋梁改築等)
第1段階	河内川 L=1.2km (河道拡幅等)

立間川水系 流域治水プロジェクト（案） [ロードマップ]

～ 【陣屋町吉田】みかん産地の文化・産業・暮らしを守る防災・減災対策の推進 ～

大規模氾濫に関する減災対策協議会では、平成30年7月豪雨で甚大な浸水被害が発生した立間川流域において、今後起こりうる大規模災害の被害軽減に向けて、流域のあらゆる関係者が協働し、「立間川水系流域治水プロジェクト」に取り組む。

R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8 R12 R13 R32

■ 河川における対策

愛媛県・宇和島市	災害復旧	平成30年7月豪雨で被災した施設の復旧
愛媛県	河川改修（第1段階）	河川整備計画策定 ◎ 立間川・国安川・河内川の改修による「中心市街地」の浸水被害の軽減
愛媛県	河川改修（第2段階）	立間川の改修による更なる浸水被害の軽減
愛媛県・宇和島市	河川改良	定期点検の結果に基づく河川施設の老朽化対策、上流域の浸水被害軽減に向けた局所的な改良を検討するなど、防災・減災対策に取り組む
愛媛県・宇和島市	河床掘削	河床掘削や樹木伐採を継続して実施し、河川機能確保に努める

■ 流域における対策

愛媛県	砂防施設整備	平成30年7月豪雨関連事業（砂防激甚災害対策特別緊急事業）等の土砂災害防止対策や砂防堰堤に堆積した土砂の撤去を着実に進め、流域への土砂や流木の流出抑制対策を実施
愛媛県	治山施設整備	溪流内に堆積した不安定土砂や流木の流出抑制対策を実施
地域関係者・宇和島市	事前放流、防災調整池等	東連寺ダム（農業用ダム）の洪水調節機能を強化する新たな運用を検討、地域の意見を聞き公共用地等での洪水の一時貯留を検討
宇和島市	ライフラインの防災・減災対策	代替浄水場の防災対策 ▶ 平成30年7月豪雨の経験を踏まえた水道施設（ライフライン）の老朽化対策・耐震対策を実施し、大規模災害発生時の地域の生活基盤を支える
宇和島市	内水氾濫対策	雨水排水施設の現況能力の調査に着手、既存施設の改修を順次検討・実施
愛媛県・宇和島市	津波、高潮対策	津波対策の方向性の検討（河川・海岸） ▶ 検討結果や津波防災地域づくり法等によるハード・ソフト対策の検討

■ 地域と連携した対策

<住民・地域・企業、まち全体で取り組む減災対策>

住民・地域関係者 愛媛県・宇和島市	土地利用や居住誘導の検討	立地適正化計画作成 ◎ リスク分析、防災指針記載、居住誘導区域の見直し ▶ 立地適正化計画に基づく施策を実施するとともに、緩やかに居住を誘導
農業関係者・宇和島市	地域の農地を保全する対策	平成30年7月豪雨で被災した農地の復旧、多面的機能支払交付金等を活用し、農地を保全することにより、農業の有する洪水防止機能等の多面的機能を発揮する
住民・地域関係者 愛媛県・宇和島市	地域の文化・観光資産を守る対策	陣屋町の遺構（立間川の「横堀」等）の保護に繋がる計画で河川改修を検討するなど、地域の文化財や文化遺産を水害等から守る取り組みを進める
宇和島市	事前復興に向けた取組 （地図混乱地域の解消）	平成30年7月豪雨 用地プロジェクト ▶ 激甚災害等の大規模な復旧事業における用地取得を迅速に行うため、国土調査を継続し、地図混乱地域の解消を図る
住民・消防関係者 愛媛県・宇和島市	地域防災力の強化対策	防災士の取得や自主防災組織・消防団への参加促進と活動を支援、地域防災力の強化や防災意識の高揚を図る
事業関係者・宇和島市	企業防災への支援	地元商工会と連携して、小規模事業者の事業者BCPの策定を支援、大規模災害発生時の事業継続力の強化
愛媛県・宇和島市	新たな対策の検討	「流域治水」関連法に基づく新たな対策の検討・実施
宇和島市	防災マニュアル等の見直し	立間川の水位周知河川への指定等に伴い「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を見直し、避難情報の伝達訓練を継続して実施

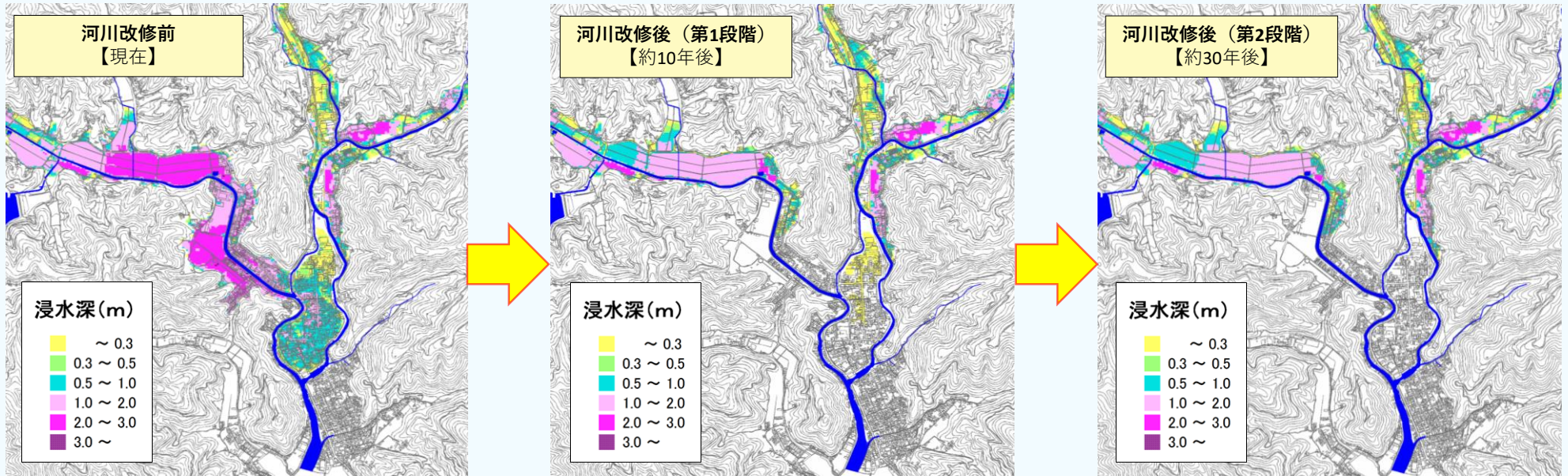
<「逃げ遅れゼロ」に向けた避難体制の強化>

住民・事業関係者 愛媛県・宇和島市	避難行動の支援	住民のマイタイムライン、避難行動要支援者の個別計画、要配慮者利用施設の避難確保計画等の作成を促進、避難行動の実行性を高める
愛媛県・宇和島市	水害リスク情報の提供	防災マップ・防災アプリの更新、雨量計や水位計・河川監視カメラの増設、防災ラジオやSNS等による積極的な防災情報の発信

立間川水系 流域治水プロジェクト（案） [流域治水の必要性]（参考）

～ 【陣屋町吉田】 みかん産地の文化・産業・暮らしを守る防災・減災対策の推進 ～

河川整備計画による改修効果（中心市街地の洪水被害の軽減）



※平成30年7月豪雨を再現した降雨モデルを使って、大潮の満潮を想定した洪水氾濫シミュレーションを実施しています。内水氾濫による浸水は考慮していません。

平成30年7月豪雨と同じ降雨を再現した場合、河川整備計画による改修の実施で、中心市街地の洪水被害の軽減が期待できるが、上流域では大きな被害軽減効果は期待できない。また、平成30年7月豪雨を超える豪雨による洪水・雨水出水・土砂災害や、南海トラフ地震による津波に備えて、流域全体で更なる減災対策の取り組みを行うことが必要になる。

→ 流域のあらゆる関係者が協働し、「河川における対策」に加えて、「流域における対策」や「地域と連携した対策」に取り組み、流域全体で大規模災害の被害軽減を図ることが重要となる。 ～ *Climate Action for Sustainable Cities and Communities* ～

